

第82回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日 時 令和4年10月27日(木) 13:00～14:45
場 所 Zoom会議との併用
出 席 者 〔館外運営会議委員〕
市澤委員(副議長)、梅崎委員、江村委員、小澤委員、木川委員、木下委員、
坂上委員、徳丸委員(Zoom出席)、バートン委員、村上委員
〔館内運営会議委員〕
山田委員(議長)、関沢委員、小倉委員、内田委員、高田委員、松木委員、
大久保委員、林部委員、日高委員、三上委員
欠 席 者 鈴木委員
陪 席 者 館長、管理部長、総務課長、財務課長、研究協力課長、博物館事業課長、
総務企画係、人事係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

総務課長から、出席委員20名により本会議が成立している旨報告があり、併せて配付資料の確認が行われた。

○議 事

(1) 前回議事要旨確認

山田議長から、資料1に基づき前回(令和4年5月30日開催第81回国立歴史民俗博物館運営会議)議事要旨(案)の確認が行われ、原案どおり承認された。

(2) 審議事項

①教員の選考について

・歴史資料分析学准教授

木下教員候補者選考委員長から、資料2-1(回収資料)に基づき、審査報告について説明があり、審議、単記無記名の投票を行った結果、歴史資料分析学准教授1名の採用を承認した。

・先史考古学(弥生)テニュアトラック助教

木下教員候補者選考委員長から、資料2-2(回収資料)に基づき、審査報告について説明があり、審議、単記無記名の投票を行った結果、先史考古学(弥生)テニュアトラック助教1名の採用を承認した。

・日本中世史テニュアトラック助教

木下教員候補者選考委員長から、資料2-3(回収資料)に基づき、審査報告について説明があり、審議、単記無記名の投票を行った結果、日本中世史テニュアトラック助教1名の採用を承認した。

(3) 報告事項

①教員候補者選考委員会報告について

・近世絵画史准教授公募の結果について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料3に基づき、当該公募を実施した結果、適任者なしとする審議結果及びその理由について報告があった。

②共同研究委員会報告について

・令和3年度共同研究終了課題の実績報告について

山田議長から発議があり、小澤共同研究委員会委員長から、資料4に基づき、令和3年度終了共同研究課題（基幹研究1件、基盤研究3件（うち課題設定型1件、館蔵資料型1件）、歴博研究映像型共同研究1件）の実績報告について、共同研究委員会においてそれぞれ問題なく実施されていると判断された旨の報告があった。

・共同利用型共同研究について

引き続き、小澤共同研究委員会委員長から、資料5に基づき、令和3年度共同利用型共同研究課題（館蔵資料利用型6件、分析機器・設備利用型1件）の成果報告書について共同研究委員会においてそれぞれ問題なく実施されていると判断された旨の報告があった。

・第3期基幹研究プロジェクト終了課題の実績報告について

引き続き、小澤共同研究委員会委員長から、資料6に基づき、第3期基幹研究プロジェクト終了課題（機関拠点型1件、広領域連携型2件、ネットワーク型1件）の実績報告について、共同研究委員会においてそれぞれ問題なく実施されていると判断された旨の報告があった。

③歴博の活動状況について

山田議長から、資料7をご覧いただき、質問等があればお受けしたい旨発言があった。

(4) その他

① 『国立歴史民俗博物館研究報告』の電子化について

小倉研究推進センター長から、次年度から実施予定の『国立歴史民俗博物館研究報告』の電子化について概要説明があり、意見交換が行われた後、西谷館長から補足説明があった。

(5) 館長挨拶

西谷館長から、本日の企画展示の見学及び意見交換会の実施の意義と歴博の継続的な研究活動を支える新規教員採用の重要性について、また、施設の老朽化や電気料金の高騰による予算の逼迫等の現況について説明があった。